

| | |
|--|--------------------------|
| <p>河川底質中PCBsの汚染分布調査および 効率的処理に関する研究</p> | |
| <p>A Survey on the Distribution of PCBs Contaminated Sediment and Effective Treatment for PCBs</p> | |
| <p>ポリ塩化ビフェニル類に代表される有害物質で汚染された底質に対しては、その汚染分布および起源の把握、さらには効率的に処理することが求められる。本研究では高濃度PCBsに汚染された都市河川における底質の汚染分布調査を行い、起源の推定を行った。その結果、底質中PCBsは四塩素化物を主とするものが多数を占めることが確認され、またコプラナーPCBs異性体分布および高濃度PCBs異性体分布から、その汚染源は代表的な製品PCBsであるカネクロール、特にKC-400の可能性が極めて高いことがわかった。また底質中PCBsの効率的処理方法として、既存の分解技術と比較すると安価で簡易な処理技術であるFenton反応に着目し、底質中PCBsの分解可能性の検討を行った。H₂O₂濃度および振とう時間を変えて実験を行った結果、H₂O₂濃度が4.9M、振とう時間が24時間の条件において、最大分解率37%が得られた。</p> | |
| <p>北出 真一郎</p> | <p>Shinichiro Kitade</p> |
| <p>底質、ポリ塩化ビフェニル類、汚染分布、カネクロール、Fenton反応</p> | |
| <p>sediment, PCBs, pollution distribution, Kanechlor, Fenton reaction</p> | |